

令和元年度当初予算の内容② 《スクラップ編》



「今」と「将来」のためのビルド事業の説明に
続いて「財政の健全性」の確保について説明
するで！

確かビルド（新規事業の実施、既存事業の充実）
とスクラップ（既存事業の見直し）はセット
だったよね！

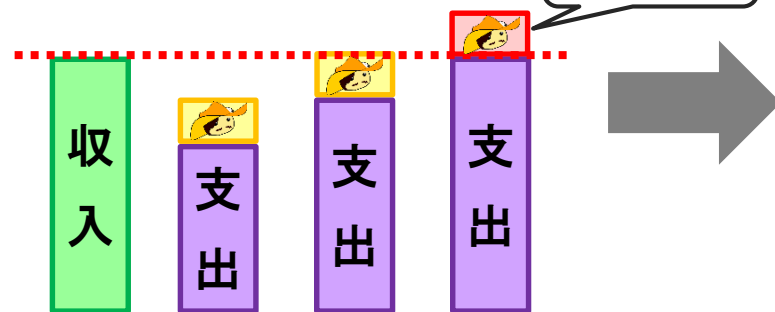


そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまふんだよ。



◎ビルドだけだと…

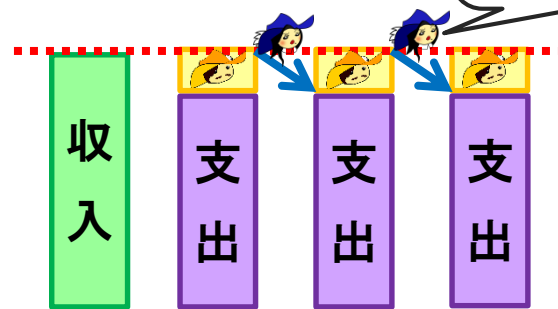
- ビルドによる新たな経費
- 財源が不足する経費



◎ビルドとスクラップがセットなら…

→ スクラップによる財源の確保

収支のバランスも取れた予算に！



左の図のように、**ビルド**だけやと収入以上の支出になって財源が不足するけど、右の図のように、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、収支のバランスを取ることができるねん。





ってことは、令和元年度予算を編成するときにも**スクラップ**に取り組んだってことね！

既存の事業を見直すことは、時代に適したものになるように行政サービスを活性化させることにもつながるから、とてもいいことなんだよ。



ほな、令和元年度の予算編成で取り組んだ内容を紹介するで！





まずはじめに、スクラップ言うても、
こんなふういろいろな方法があるねん。

スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

歳入の確保

単純にサービスを止めてしまっ
ただけじゃないのよね。





令和元年度予算編成でも、
多くのスクラップに取り組んだで。

例えば、「サービスの廃止・縮小」として、
介護職員の実務者研修への補助金を、大阪府
の補助制度が充実されたことにより、廃止し
たり（200万円減）、委託業務の見直し等を
してん。
合計で約1,800万円の見直しになるで。



実情に沿って廃止や縮小すれば、
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。
普段からサービスの効率化を意識したり、
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

令和元年度は、電力入札の対象外で
あった施設を入札対象としたこと等
による見直し（3,601万円減）などが
あるで。



「最少の経費で最大の効果」を発揮する
ために、常日頃から効率的な実施方法を
検討しているんだ。約1億4,600万円も
見直しているよ。





そして「**経費の抑制**」。
これも実施方法の変更と同様に、効率化を図ったり、実情に沿って見直すことやで。

委託料や補助金などをこれまでの実績を踏まえて精査することで、約1,500万円も見直してん。

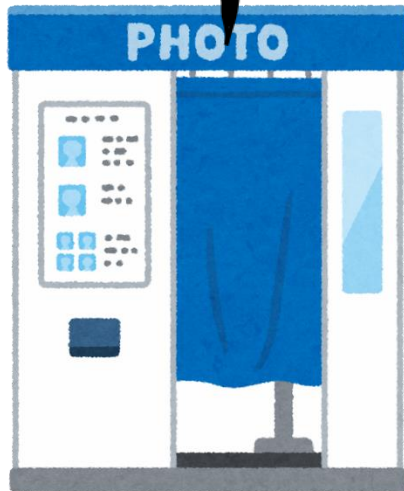


委託料や補助金も必要に応じて見直せば、新たなサービスの財源になるのね！





最後は「**歳入の確保**」。
サービスを見直して支出（歳出）を抑制するだけやなく、利用の適正化や収入（歳入）を増やして財源を確保しようっていう方法やで。



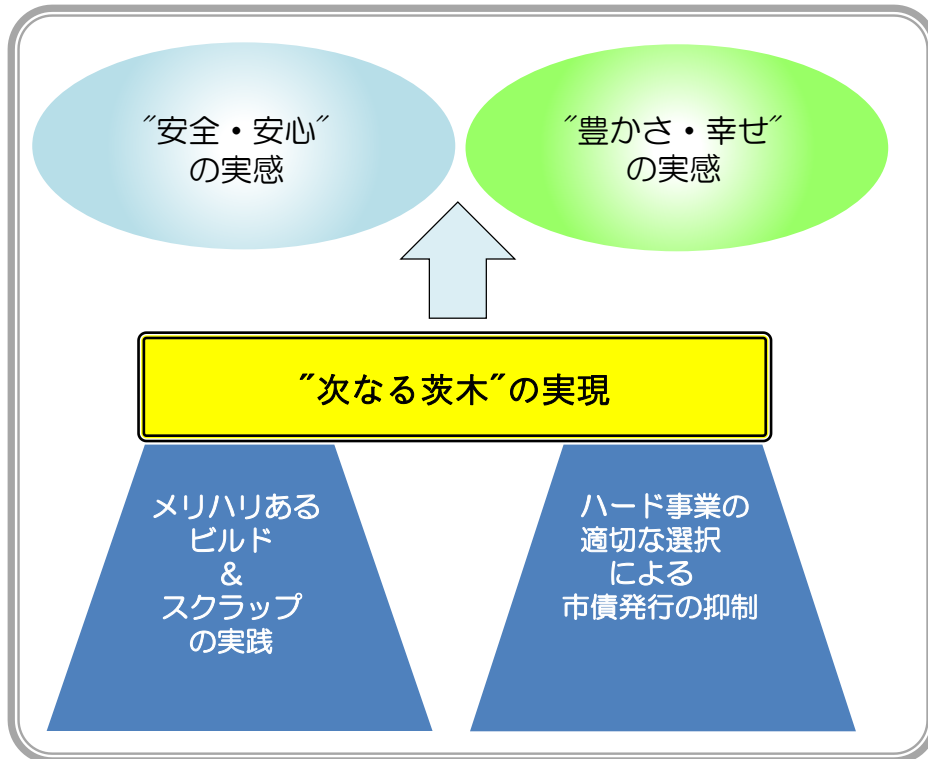
令和元年度の取り組みは、証明用写真自動販売機設置使用料の見直し（178万円増）など、約3,300万円の歳入を確保できてん。

工夫を凝らした歳入の確保等にも取り組んでいるんだね！





「**財政の健全性**」の確保には、**ビルド&スクラップ**の実践のほかにも、**ハード事業を適切に選択して市債（借金）を抑制**をする方法もあるんだよ。
ハード事業の実施に伴い発行する市債の償還費用が、将来世代に重くのしかからないようにしないとね。



健全化の取組みによって、将来にわたる健全財政を確保してるのね！



令和元年度も「**財政の健全性**」を確保して
「**次なる茨木**」に向かって進んでいこう！

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

